◆英語

高校で学習する語彙・文法・構文をもとに、多様な英文を的確に読み取り、場面に応じて適切に判断・表現する力を問う。読解、会話、整序、文法の各設問を通して、医療・福祉分野の専門職に必要な英語の基礎的理解力と論理的思考力の定着を多面的に確認する。

◆現代の国語・言語文化

多様なテーマを扱った文章を通して、要旨の把握、論理構造の理解、語彙や文脈の読み取り力に加え、高校までに習得しておく基本的な漢字の読み書きの力も問う。医療・福祉分野で求められる読解力や表現理解力、円滑な意思疎通力に関する知識・学力を確認する。

◆日本史探求

高校で学習する日本史の内容を中心に、歴史的事象の理解に加え、史料や記述文から情報を的確に読み取り、論理的に思考・判断する力を確認する。基礎知識の定着に加えて、歴史的背景や因果関係を理解し活用できるかを問うことで、学習の深化と意欲を測ることを目的とする。

◆数学Ⅰ・数学Ａ

高校で学習する数学Ⅰ・数学Ａの基本事項をもとに、数式処理、関数の理解、図形の性質、場合の数・確率などに関する論理的思考力を多面的に確認する。基礎知識を活用して課題を筋道立てて解決する力を通じて、医療・福祉分野で求められる判断力と問題解決力に関する知識・学力を確認する。

◆数学Ⅱ・数学Ｂ・数学Ｃ

高校で学習する数学Ⅱ・数学Ｂ・数学Ｃの基礎的な知識と技能をもとに、数列・関数・ベクトル・図形などに関する論理的思考力・数量的処理力を多面的に評価する。医療・福祉の現場で活躍するために必要な、筋道立てて考える力や粘り強く課題に取り組む姿勢としての知識・学力を確認する。

◆物理基礎

高校で学習する物理基礎の内容に基づき、運動やエネルギー、熱、波などの基本原理に関する知識と理解を問う。計算問題や図表を含む設問を通じて、物理現象を定量的・論理的に捉え、日常の事象と結びつけて考察する力や、基礎的な数量的思考力が身についているかを多面的に確認する。

◆物理基礎・物理

高校で学習する物理基礎および物理の内容をもとに、力学・熱・波動・電磁気・気体などに関する基本原理の理解と、それを応用して論理的に問題を解決する力を問う。多様な題材を通して、知識の定着、計算力、条件整理や図表読解などを含む物理的思考力を総合的に確認することを目的とする。

◆化学基礎

高校で学習する化学基礎の内容に基づき、物質の構成、化学変化、酸・塩基、酸化還元、気体や溶液の性質などに関する基礎知識と、それを用いて思考・判断する力を問う。医療や生命科学分野に求められる化学的リテラシーとしての知識・学力を多面的に確認する。

◆化学基礎・化学

高校で学習する化学基礎および化学の内容をふまえ、物質の構造、化学反応、溶液、電池・電気分解、反応速度・化学平衡などに関する知識と活用力を多面的に確認する。医療・福祉分野に求められる科学的思考力と基礎学力としての知識・学力を確認する。

◆生物基礎

高校で学習する生物基礎の内容を中心に、基礎知識の理解とともに、生物現象を論理的に把握し、図表や文章から適切に情報を読み取る力をみる。生体の構造やしくみ、生命活動の調節、生態系のしくみなどに関する設問を通して、知識の定着や理解度を多面的に確認することを目的とする。

◆生物基礎・生物

高校で学習する生物基礎および生物の内容をふまえ、細胞や生命現象、遺伝、感覚器や神経系、植物の応答などに関する基礎知識と、それを活用する力を問う。与えられた条件から論理的に考察し、医療・福祉分野で求められる科学的素養や論理的思考力としての知識・学力を確認する。